

2012年3月25日、 日本建国以来初の 国民投票が行われた。

内外の国民投票、住民投票の現場取材を重ねてきたジャーナリスト今井 一が、国民投票の意義から実施のシナリオまでを余すところなく解説する。また各界の論客、有名人による「原発」関連発言を紹介し解説。「原発」国民投票が実施された際に繰り広げられるキャンペーン合戦での論戦をシミュレートする。

目次

はじめに

みんなが国民投票の活用を求めている

第1章 国民投票とは何か

住民投票の全国版／国民投票の基本形／国民投票の諸形式／日本で国民投票が行なわれない理由／個別政策に対する意思表示が可能／最終決定権を、議会から主権者・国民に移す

第2章 諸外国で実施された「原発」国民投票

スウェーデン／原子力政策の選択（1980年）
スイス／原子力政策の選択（1990年および2003年）
イタリア／原子力政策の選択（1987年）

第3章 日本で実施された「原発」住民投票

新潟県巻町 原発設置のための町有地売却の是非を問う（1996年）
新潟県刈羽村 東京電力プルサーマル導入の是非を問う（2001年）
三重県海山町——原発推進派が仕掛けた住民投票（2001年）

第4章 日本でも「原発」国民投票を実施しよう

民主党は国民投票活用の法案を出していた／「原発」国民投票の実現は不可能ではない

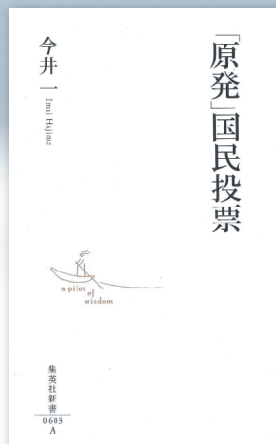
第5章 賛否両派の主張

北野 武／野坂昭如／石原慎太郎／高木仁三郎／田原総一郎／小出裕章／澤田哲生／佐高 信／寺島実郎／勝間和代ら32人

8月17日(水)
全国書店にて一斉発売

※このチラシは集英社が制作したものではありません。

今後「原発」をどうするのかは、日本国民のみならず人類の行方を左右する重大事案。行政府や立法府が勝手に決めることではなく、主権者である私たち一人ひとりが決定権を握るべきです。そのためには、国民投票を実施するのが最良で、徹底した情報公開を進めて議論を重ね、主権者自身が賢明な選択・決定をなさねばなりません——（「はじめに」より）



集英社新書 0603A

「原発」国民投票
今井 一

定価 本体740円＋税

ISBN978-4-08-720603-6